



平成21年6月12日

平成21年度「脳科学研究戦略推進プログラム」の実施機関等の決定について

文部科学省では、少子高齢化を迎える我が国の持続的な発展に向けて、脳科学研究を戦略的に推進し成果を社会に還元することを旨として、平成20年度より「脳科学研究戦略推進プログラム」を開始しています。

初年度の平成20年度は、脳内情報を解読・制御することにより、脳機能を理解するとともに脳機能や身体機能の回復・補完を可能とする「ブレイン・マシン・インターフェース（BMI）の開発」（課題A、B）及び脳科学研究の共通的な基盤となる先進的なリソースの「独創性の高いモデル動物の開発」（課題C）について、研究開発拠点の整備等を行う課題を支援しています。

2年目の今年度は、これらに加え、豊かな社会の実現に貢献する脳科学を目指して、ヒトの社会性障害の理解・予防・治療や社会性の健全な発達促進に応用することを最終目標とした「社会的行動を支える脳基盤の計測・支援技術の開発」（課題D）を統合的に推進する研究開発拠点の整備を行うとともに、平成20年度より開始している「独創性の高いモデル動物の開発」（課題C）について追加要素課題として参画機関を加えるため、実施機関を公募し、外部有識者により構成される課題選考委員会の審査を経て、今般、実施機関等を決定しましたので、お知らせいたします。

1. 本プログラムの概要

「脳科学研究戦略推進プログラム」については、少子高齢化を迎える我が国の持続的な発展に向けて、科学的・社会的意義の高い脳科学研究を戦略的に推進し、成果を社会に還元することを目的とし、平成20年度より開始しています。

初年度の平成20年度においては、脳内情報を解読・制御することにより、脳機能を理解するとともに脳機能や身体機能の回復・補完を可能とする「ブレイン・マシン・インターフェース（BMI）の開発」（課題A、B）及び脳科学研究の共通的な基盤となる先進的なリソースの「独創性の高いモデル動物の開発」（課題C）について、研究開発拠点の整備等を行う課題を支援しています。

2年目の今年度においては、「社会的行動を支える脳基盤の計測・支援技術の開発」（課題D）について、豊かな社会の実現に貢献する脳科学を目指し、ヒトの社会性障害の理解・予防・治療や社会性の健全な発達促進に応用することを最終目標として、研究開発拠点の整備を行う課題を支援するため、課題の実施機関等を選定しました。また、平成20年度より開始している脳科学研究の共通的な基盤となる先進的なリソースの「独創性の高いモデル動物の開発」（課題C）について、追加要素課題として新たに参画機関等を選定しました。

2. 決定までの経緯

(1) 公募

平成21年3月27日（金）～4月27日（月）の期間、公募を実施しました。

① 社会的行動を支える脳基盤の計測・支援技術の開発（課題D：研究開発拠点整備事業）への提案件数・・・7件

② 独創性の高いモデル動物の開発（課題C：追加要素課題）への提案件数・・・2件

(2) 審査

外部有識者により構成される「脳科学研究戦略推進プログラム」平成21年度課題選考委員会（別紙1）において、書面審査及びヒアリング審査を実施しました。

3. 決定した実施機関等

上記の手続きにより、別紙2に掲げる実施機関等を決定しました。

4. 今後の予定

決定された実施機関と速やかに委託契約等の手続きを行い、8月頃より事業を開始する予定です。

<お問い合わせ先>

文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課

担 当：宮本、岡本、田中、山中

T E L：03-6734-4104（直通）

「脳科学研究戦略推進プログラム」

平成21年度課題選考委員会委員

- 伊佐 正 大学共同利用機関法人自然科学研究機構
生理学研究所 教授
- 大隅 典子 東北大学大学院医学系研究科 教授
- 苧阪 直行 京都大学大学院文学研究科 科長・文学部 部長
- 勝木 元也 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 理事
- 金澤 一郎 日本学術会議 会長
- 金子 章道 畿央大学健康科学部 学部長・大学院健康科学研究科 科長/
慶應義塾大学 名誉教授/ノバルティス科学振興財団 理事長
- 川人 光男 株式会社国際電気通信基礎技術研究所脳情報研究所 所長
- 貴邑(田中) 富久子 国際医療福祉大学客員教授/横浜市立大学 名誉教授
- 丹治 順 玉川大学脳科学研究所 所長
- 津本 忠治 独立行政法人理化学研究所脳科学総合研究センター
グループディレクター
- 中西 重忠 財団法人大阪バイオサイエンス研究所 所長
- 本間 さと 北海道大学大学院医学研究科 教授
- ※宮下 保司 東京大学大学院医学系研究科 教授
- 室伏 きみ子 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 教授
- 世永 雅弘 エーザイ株式会社 理事・創薬研究本部 副本部長

○ 主査、※ 副主査

計15名(敬称略50音順)

平成21年度「脳科学研究戦略推進プログラム」採択課題

1. 社会的行動を支える脳基盤の計測・支援技術の開発（課題D：研究開発拠点整備事業）：1件

研究課題名	社会的行動の基盤となる脳機能の計測・支援のための先端的研究開発
代表機関	東京大学
代表研究者	狩野 方伸（大学院医学系研究科 教授）
参画機関	自然科学研究機構、独立行政法人理化学研究所、大阪大学、東京医科歯科大学、京都府立医科大学、横浜市立大学、財団法人大阪バイオサイエンス研究所

2. 独創性の高いモデル動物の開発（課題C：研究開発拠点整備事業）の追加要素課題：1件

研究課題名	アデノ随伴ウイルスベクターを用いた脳機能の制御技術の開発
実施機関 (参画機関として追加)	自治医科大学(小澤 敬也(分子病態治療研究センター 教授))

- (参考) 平成20年度より開始している「独創性の高いモデル動物の開発（課題C：研究開発拠点整備事業）」について

研究課題名	先端的遺伝子導入・改変技術による脳科学研究のための独創的霊長類モデルの開発と応用
代表機関	自然科学研究機構
代表研究者	伊佐 正（生理学研究所 教授）
参画機関	財団法人東京都医学研究機構、京都大学、福島県立医科大学、財団法人実験動物中央研究所、慶應義塾大学、広島大学、国立精神・神経センター